

5. 今月のトピックス 「ウメ輪紋ウイルス (PPV) について」

1 ウメ輪紋ウイルスとは

モモ、スモモなどサクラ属の植物に広く感染する重要な植物ウイルスで、これまでにヨーロッパ、アジア、北アメリカや南アメリカ等で発生しています。日本では、2009 年に初めて東京都青梅市のウメで、本ウイルス (以下 PPV) の感染が確認されました。その後、関東地方や関西地方の一部の生産園地や観光園地で、過去に青梅市から移動した苗や穂木が原因と考えられる PPV に感染したウメ樹が確認されています。

PPV の感染が広がると、ウメ以外にも、モモやスモモなどで重大な被害が発生する恐れがあります。このため、農林水産省が都道府県と協力して、全国で発生調査を行うとともに、感染植物の処分などによる根絶にむけた徹底防除に取り組んでいます。なお、三重県内では現在のところ PPV 感染植物は確認されていません。



写真 1. ウメの葉の輪紋症状 (農林水産省植物防疫所原図、無断転載禁止)

2 感染経路と宿主植物

PPV はアブラムシにより伝搬されるほか、感染した植物の苗や穂木の移動によっても広がります。一方、種子や果実から感染することはありません。

宿主植物にはウメ、モモ、スモモ、セイヨウスモモ、ネクタリン、アンズ、オウトウ等サクラ属の果樹、セイヨウマユミ、ナガバクコ、ヨウシュイボタなどがあります。

3 症状や被害について

ウメでは、葉に緑色の薄い部分がドーナツ状 (輪紋症状、写真 1) や斑点状に生じます。また、花卉が斑 (ふ) 入りになる症状 (プレーキング症状、写真 2) が現れます。果実には顕著な症状は見られませんが、表面にやや凹んだ輪紋を生じることがあります。

モモやスモモでは、葉にウメと同様の症状が生じるほか、果実表面に斑紋が生じたり、早期落果するなどの被害が外国で報告されています。

4 お願い

三重県においても農林水産省植物防疫所と協力して、生産園地や観光園地で PPV の発生調査を実施しています。被害を最小限に抑えるためには、早期発見による適切な対応が重要です。調査へのご協力をよろしくお願いします。



写真 2. ウメの花のプレーキング (斑入り) 症状 (農林水産省植物防疫所原図、無断転載禁止)

三重県病害虫防除所